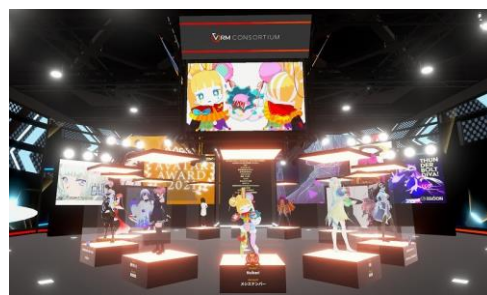


メタバース時代のファッションコンテスト 「アバターアワード 2022」作品募集開始 12月下旬、バーチャルランウェイで表彰式を実施

一般社団法人 VRM コンソーシアム（代表理事：石井洋平、所在地：東京都中央区 / 株式会社ドワンゴが加盟）は、仮想空間での自己の分身「アバター」を審査・表彰する「アバターアワード 2022」の詳細をお知らせします。また、本日よりアバター作品の募集を開始します。

著名クリエイター陣がプロ視点でアバター作品を審査するコンテスト、11月20日までTwitterで作品を募集



2021年第2回アバターアワードの様子

「アバターアワード」は、独創的な進化を続けるアバター文化の振興とクリエイターの社会的認知度向上を目的として、一般より広く 3D アバター作品を募集し、優れた作品を表彰するアワードです。昨年開催した「アバターアワード 2021」では、審査員にパリ・コレクションで注目を集めた世界的ブランド「KEITA MARUYAMA」を手掛けるファッションデザイナーの丸山敬太氏や、ライトノベルの挿絵やカードゲームのイラストを中心に活動中の人気イラストレーターの藤ちょこ氏など、多様な分野の第一線で活躍するクリエイターが参画。応募総数は 152 点にのぼり、厳正な審査を経て最優秀賞を 1 点、優秀賞を 3 点選出しました。

今回、「アバターアワード 2022」では、10月24日（月）から11月20日（日）までを作品の応募期間とし、選ばれた優秀作品は12月下旬に開催する「アバターアワード 2022 授賞式」生放送のバーチャルランウェイにて紹介、表彰します。審査員はファッション業界やコンテンツ産業のクリエイター陣が務め、プロフェッショナルの視点から投稿作品のキャラクター性・ファッション性・先進性を評価し、選考を行います（審査員は後日発表）。募集部門は、アバターを評価する「アバター部門」とアバター同士の交流が伝わる写真を評価する「アバターライフ部門」の2部門。さらに、アバター文化の発展に最も貢献したバーチャルキャラクターを表彰する「主催者特別功労賞」も選出予定です。ノミネート作品に選出されたアバターは、ユーザーが実際に鑑賞できるよう「バーチャルキャスト」などで一般公開し、ユーザー投票を実施します。

「アバターアワード2022」開催概要

【主催】一般社団法人 VRM コンソーシアム

【実行委員長】大前広樹（一般社団法人 VRM コンソーシアム 理事 渉外委員会委員長 / ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン 日本代表ディレクター）

<応募要項>

- ◆応募期間：2022年10月24日（月）～2022年11月20日（日）23:59
- ◆応募方法：①アバター部門：TwitterでVRMコンソーシアム事務局をフォローし、自身のアバターのベストショット、全身がわかる画像を添付して、ハッシュタグ「#AvatarAward2022」を付けて投稿。
②アバターライフ部門：TwitterでVRMコンソーシアム事務局をフォローし、アバターの集合写真などアバター同士の交流が伝わる写真を添付して、ハッシュタグ「#AvatarAward2022」に加えて「#AvatarLife」を付けて投稿。
- ◆アバターの作成方法：fbx、vrml形式であれば、作成方法は自由。市販のアバター作成アプリも使用可能。
- ◆最終選考：ノミネートされた場合、VRMコンソーシアム事務局よりDMにてご連絡します。その際、ランウェイ撮影のためアバターデータをご提供いただきます（fbx、vrml形式）。そのほか、詳細に関しましては公式サイトのお問い合わせをご確認ください。
- ◆表彰式生放送：2022年12月下旬
- ◆公式サイト URL：<http://vrml-consortium.org/avataraward/>
- ◆公式 Twitter：https://twitter.com/vrml_pr